

教育
重点施策

- いのちと人権を守る教育の充実
- 確かな学力の育成
- 「あったか あいさつ運動」の推進
- ふるさと教育の推進
- 子育て支援の充実
- NEW 統合中学校の開校に向けた取組の推進



「なにか いるかな？」 子育てふれあいセンター出張ひろば 中区東安田 いぶきの森で

◇令和4年度 教育方針について◇

令和の始まりとともに、新型コロナウイルス感染症の波が次々と全世界を襲っています。コロナ禍の中で様々な制限とともにある暮らしは、大人はもちろん子どもたちにも大きなストレスを与えています。また、ICT技術の進展は人々の生活を大きく変えています。このように、**予測が難しく変化の大きな時代**を生きる子どもたちには、様々な課題に出会っても**あきらめることなく、周りの人と力を合わせながら、より良い解決策を見つけようとする力が必要**となります。小中学校の学習指導要領が目指す「主体的・対話的で深い学び」は、まさにこういった力を育てていくことが強く意識されています。

そこで、多可町教育委員会では**教育行政を進めるに当たり3つのことを大切に**します。

1つ目は、地域とともにある組織づくりを大切にします。多可町では年々少子高齢化が進み、その影響は町全体に及んでいます。学校園や関係施設などもその例外ではありません。現在、小学校で進めているコミュニティ・スクールの取組は、学校と地域の皆さんがともに力を合わせ、教育や地域の課題を解決していくために有効な手立ての一つであると考えています。組織の情報を共有し、地域とともにある組織を皆さんとつくっていきます。

2つ目は、マーケティングを大切にします。子どもたちや教職員、保護者、利用者の願いを適切にくみ取り、グローバルな視点で持続可能な教育行政を行っていきます。そのためには現状の取組を分析するためのアンケート調査など、広く現場の声を集める仕組みを大切にします。そして、その収集したデータや分析結果を取組の改善に確実につなげていきます。

3つ目は、一人ひとりの職員の能力を最大限に活かすことを大切にします。「教育は人なり」と言われます。目標を達成するためには現場の最前線に立つ職員が働きやすい環境のもと、自分の持てる力を発揮することが大切です。勤務時間の適正化に取り組むとともに、風通しの良い職場をつくり、個人と組織の持つ良さを発揮できるよう努めてまいります。

さて、令和2年度から始まった「多可町地域の学校教育のあり方を考える会」の協議を受けた答申を令和4年1月に頂戴しました。この答申には子どもたちはもちろんのこと、保護者の皆さん、地域の皆さん、学校関係者の皆さんの教育にける願いが詰め込まれています。この願いをしっかりと受け止め、施策に反映していかねばなりません。そこで、**今年度の重点施策には、従来から大切にしてきました5つに「統合中学校開校準備委員会」の展開を新たに**加えています。

子どもたちが多可町で学び、育ったことに誇りを持ち、保護者や地域の皆さんが多可町で子育てして良かった、多可町に住んで良かったと実感していただけるよう学校園、家庭、地域の皆さんと一丸となって進めてまいります。